



令和2年3月1日発行
発行所
滋賀県立彦根東高等学校
金 亀 会
滋賀県彦根市金亀町4-7
TEL & FAX0749-23-0888

印刷所
(株)ビコハン
彦根市城町1丁目4-12

金亀会報



▲全国高校囲碁選抜大会男子団体戦の決勝戦 大接戦の末1-2で惜敗したものの見事全国準優勝に輝いた囲碁部のメンバー



『赤鬼、たちの奮闘 全国の頂点へ



▲国体少年女子シングルスカルで見事優勝したボート部の落合陽乃花さん



ごあいさつ

金亀会会長 細江正人（東13）

金亀会会員の皆さま方におかげましては、平素より彦根東高校同窓会金亀会の活動に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は、天皇の御代替りに際して様々な儀式が執り行われました。最も印象に残ったのは「即位礼正殿の儀」でした。高御座から即位を国内外に宣明されたそのとき、激しく降っていた雨があがり皇居の上空にドームのように虹が現れ、神々しく感じた瞬でした。また、ラグビーワールドカップが日本で開催され、流行語大賞にもなった「ONE TEAM（ワンチーム）」の活躍は、TEAM（ワンチーム）の私も熱くなり、素直に喜ぶことができました。一方、自然災害も年々激甚化し、2011年の東北大地震以来、復興の途上にある地域にも容赦なく災害は襲いました。被災された皆さまにお見舞い申し上げますとともに、1日でも早い復興をお祈り申し上げます。また、復興に尽力いただいている皆さまに心から敬意を表し、安全に留意され活動されることをお祈りいたします。切迫する巨大地震への対応も合わせて、リスク耐性を高めていかなければなりません。さて、今年はオリンピック、パラリンピックが日本で開催されます。クーベルタンは「スポーツを通じて平和な世界の実現に寄与する」ことをオリンピックの目的に掲げました。人間の理想



「スカーレット」から「エール」へ

滋賀県立彦根東高等学校長 猪田章嗣（東28）

琵琶湖1周「ビワイチ」にウオーキングでチャレンジし、まもな

く3周目が完歩できそうです。琵琶湖とその奥に広がる山々の景色

の実現を願ったケーベルタンのオリンピズムは各国が覇権を争う帝國主義の時代にあって、実に画期的なものでした。また、国宝彦根城は、本年からは滋賀県と彦根市が協働しユネスコの世界文化遺産の本登録を目指すことになります。

世界遺産とは、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物です。現在を生きる世界中の人が過去から引き継ぎ、未来へと伝えていかなければならぬ人類共通の遺産です。

現在を生きる中で、原点は何かを遡り考える資質を身につけています。特に茶の湯において、当時の乱れた世間茶を否定し、原点としての茶の湯を追及しました。ものごとの本質を見極めなければ、その行動は一過性の薄っぺらなものになってしまいます。後の世の解釈ではなく原点に立ち返り真理を探求め行動に移すことができる。そういう生き方（赤鬼魂）が今、求められている気がしています。ともに今を生きてまいりましょう。

今後も、母校の淵源をたどれば、寛政11年（1799年）に開校された井伊直中公命名の藩校「稽古館」にまで遡ります。徳川家康以来、幕府の儒家思想は朱子学であつたにも関わらず、藩校では朱子学に批判的であった荻生徂徠に始まる徂徠学（古文辞学派）が発展していきます。中国の古典を成立

時の意味で解釈しようとする立場です。直弼公もまた、青年期に学問をする中で、原点は何かを遡り考える資質を身につけています。特に茶の湯において、当時の乱れた世間茶を否定し、原点としての茶の湯を追及しました。ものごとの本質を見極めなければ、その行動は一過性の薄っぺらなものになってしまいます。後の世の解釈ではなく原点に立ち返り真理を探求め行動に移すことができる。そういう生き方（赤鬼魂）が今、求められている気がしています。ともに今を生きてまいりましょう。

今後も、名門校といわれるまでになつた誇りと伝統を大切にし、文系・理系を問わず国際社会・Society 5・0で活躍できる人材の育成に努めて参りたいと思います。金亀会会員の皆様におかれましても、時代を越えて歌い継がれる校歌時には口ずさみながら、母校で頑張っている後輩たちに「エール」を送つてくださいと申します。今後とも変わらぬご支援を賜わりますようお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきま

す。他府県からも多くの方が参加しておられます。滋賀の豊かな自然や史跡・観光地等を楽しみながら巡るので、数あるウォーキング・イベントの中でもこの「ビワイチ」は格別のようです。私も改めて滋賀の魅力を再発見し、身をもつて体感しているところです。

折しも、滋賀県が舞台となる大河ドラマ「麒麟がくる」と、連続テレビ小説「スカーレット」が放映されています。そして、令和2年4月から始まる次の連続テレビ小説「エール」は、滋賀県が舞台ではないものの、我らが彦根東高校の校歌を作曲された古閥裕而先生の物語です。「六甲おろし」や高校野球でおなじみの「栄冠は君に輝く」の作曲者でもあります。本校の卒業生（金亀会会員）は母校愛が強いと感じますが、入学式・卒業式はもちろんのこと、始業式や終業式などで校歌を歌うと、私も自然と目頭が熱くなっています。校歌ができた頃に思いをはせながら、楽しみにドラマを見たいと思っています。

さて、時代は平成から令和へと移りましたが、元年には「ラグビーワールドカップ」、2年には「東京オリンピック・パラリンピック」、そして令和3年には「ワールドマスター・ズゲームズ2021関西」の開催と、日本で大きな国際スポーツイベントが続きます。

令和4年度から年次進行で始まる新しい学習指導要領には、「外国语能力の向上を図る目標を設定し、目的や場面、状況などに応じて外国語でコミュニケーションを図る力を着実に育成する」ことが

挙げられています。スーパーサイエンスハイスクールの指定を受け16年になる本校としましても、国際性の育成・強化、世界で活躍できる思考力と実践力を身に付けていかなければなりません。本校が校訓として掲げる「赤鬼魂」・「文武両道」・「自主自律」は、いつの時代にも変わらない不易の精神であります。電子黒板や書画力メラ等のICTを使って「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に取り組んでいるのもそのためです。

おかげさまで、耐震改修工事にて校舎を一新していただき、昨年には、元定期制課程の給食室を生徒の自習室としてリニューアルしました。伝統の「廊下学習」は健在ですし、新たに渡り廊下のカウントで立つたまま学習する「立ち勉」スタイルも定着しつつあります。

今後も、名門校といわれるまでになつた誇りと伝統を大切にし、文系・理系を問わず国際社会・Society 5・0で活躍できる人材の育成に努めて参りたいと思います。金亀会会員の皆様におかれましても、時代を越えて歌い継がれる校歌時には口ずさみながら、母校で頑張っている後輩たちに「エール」を送つてくださいと申します。今後とも変わらぬご支援を賜わりますようお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきま



運動部の生徒達と

今年は、東京オリンピック・パラリンピックの年です。昨年は、多くの競技で大会や競技選考会が行われ、改めてスポーツの魅力や厳しさに気付かせてくれました。本大会では日本代表選手が大いに活躍し、感動のドラマが数多く生まれることを願っています。

本欄では、御功績のあつた諸先輩が、東京オリンピック・パラリンピックの年です。昨年は、多くの競技で大会や競技選考会が行われ、改めてスポーツの魅力や厳しさに気付かせてくれました。本大会では日本代表選手が大いに活躍し、感動のドラマが数多く生まれることを願っています。

彦根東高校には6年間勤務しましたが、教員としてスタートしたのは定時制でした。頻繁に実施される新任研修会等に参加しながら定時制の授業に間に合うように急いで帰校しました。授業や部活動をはじめ定時制の仕事を終えて職場を離れるのは零時を過ぎてしまふことがよくありました。

また、高体連の事務局が置かれていたこともあり、体育科の先生方は多岐にわたる仕事に忙殺されおられました。私も全日制講師としてお手伝いをし、朝早くから夜遅くまで学校で生活しているような状態でした。

そんな新任教師の私を支えてく

る生方が取り上げられるべきところ、最大のスポーツイベント開催年にあたり、未熟な一体育教師であつた小生を御指名いただきました。厚顔無恥に駄文を綴ることをお許し下さい。

定時制と新任時代

彦根東高校には6年間勤務しましたが、教員としてスタートしたのは定時制でした。頻繁に実施される新任研修会等に参加しながら定時制の授業に間に合うように急いで帰校しました。授業や部活動をはじめ定時制の仕事を終えて職場を離れるのは零時を過ぎてしまふことがよくありました。

また、高体連の事務局が置かれていたこともあり、体育科の先生方は多岐にわたる仕事に忙殺されおられました。私も全日制講師としてお手伝いをし、朝早くから夜遅くまで学校で生活しているような状態でした。

東高体操には苦労しました

授業は、生徒諸君の自主的な取り組みのお陰でよく動き、よく汗をかく内容であつたと思いますが、大急ぎで更衣をし、クラッシャー音楽のチャイムが鳴るなか、小走りに次の授業へと急ぐ姿には、規律と授業を大切にする東高生の精神を見る思いでした。

新人のカリキュラムは「東高体操」をマスターすることから始



恩師だより

東高むかし話

《プロフィール》

1949年1月甲賀市に生まれる。信楽中学校、甲賀高校を経て、1971年日本体育大学武道学科を卒業。同年8月から3年半、青年海外協力隊柔道隊員としてケニアで活動。帰国後、1976年4月彦根東高校定時制に赴任、翌年から全日制勤務、都合6年間保健体育教師として勤務。その後は県教育委員会ほか数校で勤務。2009年定年退職。退職後はスポーツ団体役員などを経て、現在、週の半分程は実家のある信楽で田地田畑を耕しながら四季の移ろいを楽しんでいる。大津市在住。

西本 良三

《プロフィール》

1949年1月甲賀市に生まれる。信楽中学校、甲賀高校を経て、1971年日本体育大学武道学科を卒業。同年8月から3年半、青年海外協力隊柔道隊員としてケニアで活動。帰国後、1976年4月彦根東高校定時制に赴任、翌年から全日制勤務、都合6年間保健体育教師として勤務。その後は県教育委員会ほか数校で勤務。2009年定年退職。退職後はスポーツ団体役員などを経て、現在、週の半分程は実家のある信楽で田地田畑を耕しながら四季の移ろいを楽しんでいる。大津市在住。

まきました。集団演技を目的に考案されたと聞いていますが、授業の準備運動としてもよく出来た体操であったと思います。しかし、新入生の諸君と同様に、他高校出身の私には初めて接する体操を覚えるのが大変でした。同じく他高校出身であった同僚の先生とよく朝練習をしたものでした。

文武両立、部活動は盛んでした。

昭和54年の全国高校総体に続き56年にびわ湖国体が滋賀県で開催されました。東高のチームや選手も、県高校総体や県体で上位入賞する好成績をあげ、赤鬼魂の存在感を示す絶好の機会になりました。私自身は、柔道部の顧問として、それぞれ部員達と寝食を共にする機会にも恵まれ、非常に濃密な時間を過ごさせていただきました。よく出席させていただくOB会では、インターハイや近畿大会での活躍、稽古、練習試合、そのほか紙面に紹介できないもうろのハプニング等、当時の話題に事欠くことはない盛り上がっています。なかでも、全国から強豪校が集まる遠征合宿で、他校の生徒が就寝するなか東高の部員だけが、道場の片隅で車座になり勉強していた光景は、文武両立に努力する姿として忘れられません。そうしたお陰で、近畿大会出場常連となり、インターハイや国体出場者も排出する好成績を挙げることが出来ました。白髪になつた今も皆さんと一緒に交流させていただいているのは、身に余る光栄と深く感謝しています。



近畿大会団体戦勝利

羽ばたけ令和へ
時代は平成から令和へ移り、あらゆる分野に於いて大きな変革に迫られています。学校教育もその

は、知識の習得だけでなく、集団生活による人との触れ合いから人間的成長を育む場であることを不思議としました。僅か3年間のことですが、皆さん的人生で忘れない3年間であつたと思いま

す。そして濃密であればあつた程、同窓生という強い絆で結ばれていることでしょう。これからも彦根

東高校の卒業生として、それぞれの立ち位置で世の中の役に立つことを第一義とし、激変の時代を切り開いていただきたいと思います。

最後になりましたが、卒業生、在校生、教職員の皆様の益々の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

平成30年度 金龜会一般会計収入支出決算報告書
(収入の部) (単位:円)

予算科目	予算額	決算額	差引額	備考
入会金	954,000	953,000	△1,000	在校生
会費	4,410,000	4,957,080	547,080	会費 終身 275人・年 168人 賛助会費 284人 2,121千円
雑収入	48,302	19,573	△ 28,729	名簿、宛名シール、 周年事業記念誌、預金利息
繰越金	3,373,698	3,373,698	0	前年度繰越金
合計	8,786,000	9,303,351	517,351	

(支出の部)

予算科目	予算額	決算額	差引額	備考
事務費	135,000	112,854	22,146	消耗品費
通信費	120,000	80,705	39,295	電話代、郵送料
総会費	250,000	155,786	94,214	総会諸経費
会議費	100,000	34,664	65,336	常任理事会
旅費	120,000	111,380	8,620	支部総会
涉外費	600,000	600,000	0	支部総会祝金
事業費	3,600,000	3,651,146	△51,146	公孫樹印刷、印刷機リース代
激励費	500,000	1,175,000	△675,000	全国・近畿大会出場激励金
繰出金	3,200,000	3,200,000	0	
予備費	161,000	0	161,000	
合計	8,786,000	9,121,535	△335,535	

収入総額 9,303,351円 - 支出総額 9,121,535円 = 残額 181,816円 (平成31年度へ繰越)

平成30年度 金龜会基金会计収入支出決算報告書

(収入の部) (単位:円)

予算科目	予算額	決算額	差引額	備考
繰越金	16,194,025	16,194,025	0	前年度繰越金
繰入金	3,200,000	3,200,000	0	一般会計より
寄付金	1,000	47,656	46,656	東5回 47,656円
返還金	0	0	0	
雑収入	4,975	1,416	△ 3,559	預金利息
合計	19,400,000	19,443,097	43,097	

※東高第17回卒業同窓会より「吹奏楽部楽器一式」(120万円相当)をご寄贈いただきました。

(支出の部)

予算科目	予算額	決算額	差引額	備考
激励費	1,000,000	1,000,000	0	SSH海外研修激励金
周年事業費	480,000	400,000	80,000	史料館 史資料デジタル化に伴う職員雇用費用
合計	1,480,000	1,400,000	80,000	

収入総額 19,443,097円 - 支出総額 1,400,000円 = 残額 18,043,097円(平成31年度へ繰越)

平成30年度 会計監査報告書

平成30年度滋賀県立彦根東高等学校金龜会の一般会計及び基金会計について、各会計の決算書を基に関係諸帳簿、預金通帳及び収入支出証拠書類等の監査をしたところ、いずれも適正に処理されており、正確であったことを認めます。

平成31年4月26日

金龜会会計監査 橋本 貢治印 川瀬 勝彦印

【訂正】

金龜会報(第40号)で報告しました「第90回記念選抜野球大会出場会計収入支出決算報告書の(支出の部)」について、下記のとおり訂正します。

【訂正前】
(支出の部)

(単位:円)

科目	項目	金額	備考
総務費	会議費	17,856	実行委員会開催経費
	印刷費	1,350,221	趣意書、礼状、振込用紙、封筒
	通信費	1,762,949	郵送料、電話代、切手
	備品・消耗品費	0	ゴム印、領収書、ファイル等
出場費	記録費	417,899	東高新聞甲子園版、新聞部取材経費
	記念品	1,719,380	赤鬼の夏(キマグレ)印刷、フェイスタオルほか
	選手滞在費	4,469,455	宿泊代等
	交通費	857,140	バス代
	用具費	3,853,559	選手・スタッフ ユニフォーム等
	交通費	6,923,725	応援バス代等
	入場券購入費	2,610,500	アルブースタンド等
応援費	応援用具費	7,611,439	帽子、ウインドブレーカー、メガホン等
	備品・消耗品費	693,457	チアリーディング、吹奏楽経費等
	食料費	842,142	応援用生徒・教師等弁当・ドリンク代ほか
	謝礼	441,000	吹奏楽応援・チアリーディング指導謝礼等
その他	備品・消耗品費	0	
	設備整備費	0	
遠征費	交通費	553,189	バス代、通行料等
	滞在費	0	宿泊代等
雜費	振込、払込手数料	422,264	ゆうちょ銀行振込・払込手数料
合計		34,546,175	
余剰金		11,087,436	

令和元年度 金龜会一般会計収入支出状況(12月末)
(収入の部) (単位:円)

予算科目	予算額	収入済額	差引増減額	備考
入会金	951,000	718,000	△233,000	在校生
会費	4,520,000	2,164,989	△2,355,011	会費 終身126人・年75人 賛助183人 915千円
雑収入	48,184	19,948	△28,236	名簿、宛名シール、 周年事業記念誌、預金利息
繰越金	181,816	181,816	0	前年度繰越金
合計	5,701,000	3,084,753	△2,616,247	

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備考
事務費	120,000	103,964	16,036	消耗品費
通信費	90,000	57,421	32,579	電話代、郵送料
総会費	160,000	102,286	57,714	総会諸経費
会議費	100,000	11,160	88,840	常任理事会
旅費	120,000	140,780	△20,780	支部総会
涉外費	450,000	450,000	0	支部総会祝金
事業費	3,600,000	369,552	3,230,448	公孫樹印刷、印刷機リース代
激励費	1,000,000	620,000	380,000	全国・近畿大会出場激励金
繰出金	0	0	0	
予備費	61,000	0	61,000	
合計	5,701,000	1,855,163	3,845,837	

収入総額 3,084,753円 - 支出総額 1,855,163円 = 残額 1,229,590円

令和元年度 金龜会基金会计収入支出状況(12月末)

(収入の部) (単位:円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備考
繰越金	18,043,097	18,043,097	0	前年度繰越金
繰入金	0	0	0	
寄付金	1,000	10,500	9,500	東39回 10,000円 東57回 500円
雑収入	1,903	38	△1,865	預金利息
合計	18,046,000	18,053,635	7,635	

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備考
激励費	1,000,000	1,000,000	0	SSH海外研修激励金
周年事業費	480,000	360,000	120,000	史料館 史資料デジタル化に伴う職員雇用費用
後援費	0	0	0	
合計	1,480,000	1,360,000	120,000	

収入総額 18,053,635円 - 支出総額 1,360,000円 = 残額 16,693,635円

金 亀 会 総 会



令和元年度金亀会総会は5月19日（日）、木造校舎棟の多目的ホールを使用して開催されました。当日は晴天に恵まれ、全国から89名の同窓生等が参加されました。総会では、会長・校長の挨拶の後、議長に上田健一郎氏（東28）を選出しました。平成30年度の事業報告・会計決算報告、会則の一部改正、令和元年度事業計画案・会計予算案が全会一致で承認されました。会員名簿は会報の14頁をご覧ください。

また、本年度は役員改選の年度にあたり、会長・顧問・副会长・会計・監査・及び常任理事の留任・一部変更と新任が報告され、満場の拍手で新体制が選出されました。なお、令和元年・2年度の金亀会役員名簿は会報の14頁をご覧ください。

先生は、高校の保健体育科の教諭として、またサッカー部の監督として活躍され、1982年に守山高校、1994年に守山北高校において、高校サッカー選手権大会全国ベスト4にチームを導きました。守山高校時代の教え子に、W杯日本代表の井原選手などがおられ、その選手育成の手腕を買われ、ユース日本代表監督などの様々な要職を歴任され、S級ライセンスを取得し、日本を代表するサッカーの指導者として、湖国サッカーワールドを支えてこられました。2013年6月には著書「一流選手を育てるとはどういうことか」を上梓されました。

講演では、まずサッカーとの出会いについて触れられ、クラマーのコーチング理論に影響されたことや、「自分の道は自分で決めて自分で歩め」というお父様の言葉に考えさせられたことや、様々な人との出会いがあつたことを振り返られました。またユース代表監督時代には、いわゆる「アウェーの洗礼」を浴び、これからは世界標準で物事を考えなければならないと痛切に感じられたそうです。またS級ライセンス取得にあつては、「ライセンスは学びのパスポート」としてとらえ、「学ぶことをやめたたら教えることをやめなければならない」と語られ、指導

記念講演

コーチング・創造的出会い

松田 保氏（東14）



者も学びを継続する事の大切さを力説してくださいました。また、心を広げて人と交わるのが挨拶であり、学びの基本姿勢であるともおっしゃられ、暗黙知を形式知へ、個人知を組織知へ昇華させるため、インプットしたことを積極的にアウトプットし、学んだことを行動に移す「知行合一」の考え方や中江藤樹の「武なき文は眞実の文にあらず、文なき武は眞実の武にあらず」という言葉についても紹介していただきました。その後、ロシアW杯の裏話なども交えながら、運動遊びの特性やスポーツマンシップについても触れられ、失敗から学ぶことの大切さについて、「試合終了の笛は、次の試合の始まりの笛である」という言葉や「敗れることなく自分の中に原因を探す」ことが重要であり、「チャレンジする勇気はみんなにある。そのチャレンジのために何かを我

慢したり継続したりすることができるかどうか」が大切だとおっしゃられました。最後は、人間教育（コーチング）は協働の芸術というW・M・ヴォーリズの言葉を引用しながら、こどもたちの未来に向けて、夢の翼プロジェクトによるキッズからの一貫指導の大切さに触れて、講演を締めくつていたいただきました。示唆に富む話が多く、大変有意義な講演会となりました。

なお、今回の記念講演会は、卒業生だけでなく現役の彦根東高校生も受講しました。その後、ホテルサンルート彦根に場所をかえて、65名の参加で懇親会を開催し、最後に応援歌・東高校校歌を参加者全員で合唱し、盛会のうちに会を閉じました。

第102回令和元年度東京 金亀会総会並びに懇親会

幹事長 福永典明（東17）



住者2094名（東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城の1都6県）の方々に案内状を送付、100名の方々の参加となりました。さて、7月6日（土）に開催いたしました102回総会懇親会は、例年通り鶴見禎彦（すみよしひこ）東京金亀会会長（中60）の挨拶から始まりました。鶴見会長には令和元年の春の叙勲で旭日重光章を授与されたことから、そのお祝いに花束を贈呈いたしました。続いてご来賓の細江正人金亀会会長（東13）より、彦根の近況や滋賀県の現況等についてのお話をいただきました。さらに新任の

猪田章嗣彦根東高校長（東28）より母校の近況等を交えてご挨拶をいただきました。そして、平成30年度の事業報告及び会計報告、会計監査報告が満場一致で承認されました。いよいよこの後は『暮らしの手帖』というタイムマシーン』と題して、暮らしの手帖編集長の澤田康彦さん（東24）の講演が始まりました。まずはご自分の履歴から始まり、雑誌編集の仕事とのかかわり、そして日本では唯一宣伝を載せない雑誌『暮らしの手帖』のタイトルマシンの発進です。花森安治初代編集長の編集方針を縦軸に、その時代の暮らしをどのように過ごしてきたのか。衣食住の移り変わりや、その提案を雑誌の力で紡ぎだしてきた歴史を映像（雑誌の表紙や、その時々の特集記事、NHKの朝ドラの「とと姉ちゃん」）は暮らしの手帖社がモデル）でわかれやすく語つていただき、あつとくう間に講演の1時間が過ぎてしまいました。皆さん雑誌作りの裏側を見せていただいたようで、そういうことなど、ガッテン納得のご様子でした。そして参加者全員集まつての記念写真と相成りました。この後は、お待ちかねの懇親会。福原副会長（東20）の音頭で高らかに乾杯!!宴の始まりと共に、卓上には故郷の珍味「鮒寿司」を用意、学年ごとのテーブルでは話も大いに盛り上りました。途中、今年のツアーワーク『そうだったのか!!横浜開港と井伊直弼』で、掃部山（かもんやま）公園に威風堂々とそびえたつ井伊直弼銅像を皮切りに横浜開港記念館や中華街

での昼食の模様などの映像をご覧いただきました。さらに今年は盛りだくさん、撮り鉄でカレンダーの写真まで出された寺村公子さん（東7）の写真展も会場でご披露されました。次に滋賀県東京本部長の東勝さん（東30）からは9月2日に開催の「おうみの会」のご案内。そして、彦根市からは犬井義夫企画部長（東37）と市役所職員お二人が「ふるさと納税」の宣伝のためにご登壇、熱を込めたアピールを会場中に振りまいていただきました。懇親会のクライマックスは大抽選会です。滋賀県産のお米「みずかがみ」から始まって1等賞は近江牛、皆さんドキドキしながら、一喜一憂されて、大歓声と感嘆の中、全員の方々にもれなくお持ち帰りいたしました。懇親会の締めくくりは恒例の校歌、応援歌、そして「琵琶湖周航の歌」を彦根の中村直樹さん（東20）の指揮のもと参加者全員で歌い、岡村副会長（東17）の閉会挨拶と応援エールで、皆様お腹も心も大満足の中、お開きとなりました。



東京金龜会 102回記念講演
会計監査 田中清勝（東5）

第102回東京金龜会総会。編集長澤田康彦氏（東24、神崎郡能登川町出身）は「暮らしの手帖タイムマシーン」の演題。暮らしの手帖第4世紀を100号2019年6

関西金龜会の報告
副会長 森田定和（東14）

—7月号で終了（各25号で1世紀と同出版社は数えます）。新たに、暮らしの手帖第5世紀の101号発行（2019年8～9月号発行）を迎える事が出来て「人は誰でも美しい時間旅行者」と「コミュニケーション」が人生の目的だ、と講演戴き、暮らしの手帖の新世紀スタートに当たり、全参加者がお祝いを致しました。講師は出版業界を

関西金龜会（片上純一会長・東13）では「歴史街道歩こう会」（年2回）とゴルフ同好会コンペ（年2回）、2年に1度開催の総会時は、記念講演と懇親パーティーなどを開催、様々な活動を通じて親睦と交流を深めています。昨年3月のアンケート調査では、東20回以降の方々から新たな交流について多くの提案が寄せられました。

また、原康夫代表（東16）が担当された歩こう会に、5月30日の第103回目の東京金龜会総会第33回「草津宿本陣（旧東海道）を歩く」には251名、11月6日の第34回「南滋賀・三井寺を歩く」には186名が参加、旧交を温め



東海金龜会 近況報告
事務局長 川村恒治（東16）

*第17回 東海金龜会定例総会 令和元年6月23日（日）、東海金龜会（丸本洋之助会長・東7）総会が名古屋国際ホテルで開催されました。母校からは、金龜会の中村直樹副会長（東20）、猪田章嗣校長（東28）、事務局の坂本秀誠先生（東43）をお迎えし、会員

説、明智光秀は多賀町生まれだつた!!』と題して滋賀県教育委員会文化保護課の井上優氏にお話していただきます。もちろん故郷の銘品も大集合でお持ち帰り旧交を深め、楽しいひと時を語り合う。2020東京オリンピックパラリンピック開幕直前の令和2年7月11日（土）の総会懇親会、どうぞ多くのご参加を心よりお待ちしております。

第103回東京金龜会総会は2020年7月11日（土）11時30分より恒例のグランドアーケ半蔵門にて開催致します。特別講演はNHK大河ドラマ『麒麟がくる』の主人公明智光秀にスポットを当てた『新説 明智光秀は滋賀県多賀町生まれだつた!』と題して滋賀県教育委員会文化保護課の井上優氏にお話しいただきます。東京オリンピック開幕直前の東京金龜会総会にどうぞ多くのご参加を心よりお待ちしています。



親睦ゴルフ会は春と秋の年2回開催されていますが、5月14日（火）が優勝されました。また秋の第34回は9月19日（木）に岐阜関カントリーゴルフ部（岐阜県）で8名の参加で開催され、加藤達雄氏（東11）が優勝されました。また秋の第34回（東14）が優勝されました。次回第35回は来春の開催が計画されています。

前衆議院副議長の川端達夫氏（東11）から「議員生活40年を振り返った四方山話」と題して講演いたしました。中でも今般の天皇の生前退位や女性宮家の創設問題に深くかかわられ、大いにリーダーシップを發揮されたとの認識を新たにしました。そして来年度の総会は、令和2年6月14日（日）を予定しています。



*第33・34回親睦ゴルフ会

親睦ゴルフ会は春と秋の年2回開催されていますが、5月14日（火）が優勝されました。また秋の第34回は9月19日（木）に岐阜関カントリーゴルフ部（岐阜県）で11名の参加で開催され、山口光秀氏（東14）が優勝されました。次回第35回は来春の開催が計画されています。

*第7回歴史探訪ウォーキング

今回は、信長が夢見た城下町、岐阜市を訪ねてをテーマに、11月17日（日）、13名が参加し、歴史が息づく岐阜の街と長良川の清流を散策しました。次の第8回は来秋の開催が計画されています。後も総会はじめ、ゴルフ会、ウォーキング会などいろいろな会員の交流行事に皆さんの参加をお待ちしています。

彦根・湖東・湖北支部「秋の集い」開催

副支部長兼事務局長
木村泰健（東38）

彦根・湖東・湖北支部の令和元年度秋の集いは、「同窓を訪ねて」太郎坊宮と奥永源寺への旅」と題し、3年ぶりとなる散策事業

11月9日に開催しました。彦根駅をバスにて出発し、太郎坊宮・阿賀神社にて、特別祈禱並びに東近江市長・小椋正清氏（東18）のご講演を拝聴いたしました。小椋氏の講演は、公安・外交・県政他に幅広く携わってこられたご自身

米寿記念同級会

小菅一彦（彦2）



大東亜戦争（太平洋戦争）末期の昭和20年に、旧制中学、女学校に入学した我々は、昭和26年の学校制度改革により統廃合され、校名も変わり、556名卒業しました。戦中戦後の苦境を耐え抜き、日本経済の高度成長の片棒を担つた我々も、今や米寿を迎える年となりました。同級生も3分の2が物故会員となりましたが、令和元年9月26日にサンルートホテルにて同級会を開催し、47名出席しました。毎年開催してきた同級会も、これが最後と言いながら米寿同級会を迎えました。もう2年、卒寿まで頑張ろうを合言葉に散会しました。

原案通り承認されました。本期は役員の改選期にあたり、新会長に孫工昇嗣前副会長（東11）が選任されました。総会終了後記念講演会に移り、前衆議院副議長の川端達夫氏（東11）から「議員生活40年を振り返った四方山話」と題して講演いたしました。中でも今般の天皇の生前退位や女性宮家の創設問題に深くかかわられ、大いにリーダーシップを發揮されたとの認識を新たにしました。そして来年度の総会は、令和2年6月14日（日）を予定しています。

彦根・湖東・湖北支部の令和元年度秋の集いは、「同窓を訪ねて」太郎坊宮と奥永源寺への旅」と題し、3年ぶりとなる散策事業

11月9日に開催しました。彦根駅をバスにて出発し、太郎坊宮・阿賀神社にて、特別祈禱並びに東近江市長・小椋正清氏（東18）のご講演を拝聴いたしました。小椋氏の講演は、公安・外交・県政他に幅広く携わってこられたご自身

支部には、滋賀県下にお住まい又お勤めの卒業生はどなたでも入ります。「秋の集い」など支部事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会にお誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、次の連絡先まで、お名前と卒業年度を記入してお送りください。折り返し、支部案内をお送りします。

連絡先

支部長 大塚恵昭（東20）

FAX 0749-24-4589

副支部長兼事務局長
木村泰健（東38）

（金亀会大塚宛）

FAX 0749-23-6738



「令和記念同窓会」行う

川嶽順次郎（東2）

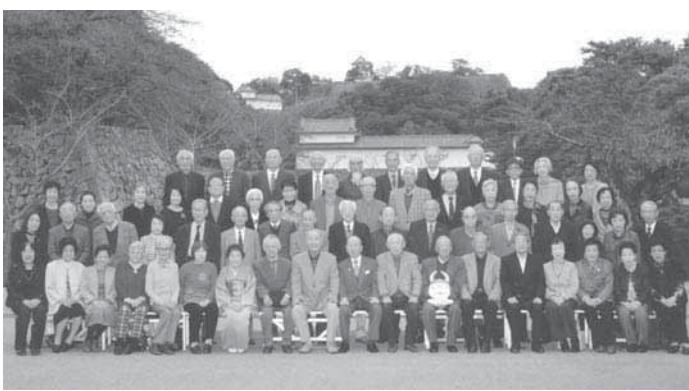
金亀会現顧問である中村善一郎君の機を逸しない企画提案、吉田耕一郎君の抜群の事務的処理、母校の心あたたかいで支援、すつ

かり皆の心をとらえて参加を促してくれた木田忠義君の秀歌一句、治療を受けながらもあちこちと説いてくれた角省三君、こうしたたくさんのお力を得て、久しづびりのすばらしい同窓会が出来ました。65名の参加者は会場を埋め尽くし、3時間の歓談も、あつという間のひとときでした。

木田君の一句

「逢いたくて お久しう振り と
いたくて 彼の人の待つ 城下へ
急ぐ」には引き込まれて何人かが出席したくなつたとのこと。もうそろそろと時も経つたとき、何と江州音頭の一節が飛び出した。北川寿彦君の甲高い美声に思わず全員起立し身体を振つてゐるではないか。窓ガラスも響かんばかりの

学年会だより



万歳三唱でエンドとなつた。まさしく「飲み語る令和の記念同窓会」

金亀の城もうれしそうでした。一同互いに元気をもらひ、次の機会を約束しあつて、なおも魅かれ思いで別れた抜群の同窓会でした。

彦八会報告

草原紘一(東8)

久しく関東で開催されていなかつた彦八会が今年(令和元年)第14回、秋晴れの11月21日(木)東京の中心地、六本木の六本木ビルズクラブ(RHC)で開催されました。RHCは六本木ヒルズの51階に位置し、下位の階にはテレビ朝日本社、また有名な毛利庭園も直ぐ傍に有ります。高層の窓からは、東京の主要部が一望出来、参加者はスカイツリー、東京タワー、新国立競技場、皇居、赤坂御所など、訪ねることなく見渡せ感激していました。さて、参加者は総勢42名(内、関東以外18名)、会は主幹事の石井啓道君の開会挨拶に始まり、次に物故者(70名)追悼、その後、谷沢長夫君が乾杯の音頭を取り宴が始まりました。ほぼ60年振りに会つた人も居て、笑いの渦に包まれました。宴会が大詰めになり、幹事の一人が1ヶ月掛けて準備したビデオ(生まれた頃から高校卒業するまでに流行

った彦八会が今年(令和元年)第14回、秋晴れの11月21日(木)東京の中心地、六本木ヒルズクラブ(RHC)で開催されました。RHCは六本木ヒルズの51階に位置し、下位の階にはテレビ朝日本社、また有名な毛利庭園も直ぐ傍に有ります。高層の窓からは、東京の主要部が一望出来、参加者はスカイツリー、東京タワー、新国立競技場、皇居、赤坂御所など、訪ねることなく見渡せ感激していました。さて、参加者は総勢42名(内、関東以外18名)、会は主幹事の石井啓道君の開会挨拶に始まり、次に物故者(70名)追悼、その後、谷沢長夫君が乾杯の音頭を取り宴が始まりました。ほぼ60年振りに会つた人も居て、笑いの渦に包まれました。宴会が大詰めになり、幹事の一人が1ヶ月掛けて準備したビデオ(生まれた頃から高校卒業するまでに流行



「喜寿記念同窓会」開催

夏川亨介(東9)

昭和36年卒業(第9回)の同窓会を開催した。

絶好の日和の令和元年11月7日、マリアージュ彦根にて、表記同窓会を開催した。生は、令和2年3月31日をもつて、全員77歳の喜寿を迎える。「めでたくもあり、めでたくもなし」といつた心境であるが、令和元年度の開催は感動ひとしおである。案内状では、これが最後の全体会になるやもしけれないと言葉を添えてお誘いしたところ、84名の参加申し込みがあり、当日は1人の欠席があつたが、予想を大きく超える参加状況であり、12名の地元幹事は感動した。

卒業時は384名の生徒数であるので、参加率は21.6%である。還暦時の同窓会の参加者は確か160数名であったので、約15年ほど半減したことになる。なお現在の名簿で把握可能な物故者は62名であり、卒業後約60年の時間の重みをしみじみ感じるところであ

企画の、ゆりかもめで東京湾岸新東京名所見物、築地外市場、浅草観光をしました。当日は冷たい雨になり、少々残念でしたが、堪能頂けたと思います。

今回の彦八会の写真、会場の様子を収めた動画などは、彦八会のホームページに中島正彦君がアップしてくれましたので、アクセスしてご覧ください。

る。

過去の同窓会では「江州音頭」で、会場内周囲で踊ることを恒例のように催したが、足腰が弱りつてある現在、喜寿記念同窓会では中止したことは残念であったが、代わりに「話芸」と「踊り」をやりたいとの事前申し出があり、元アナウンサーと素人劇団のメンバーが、楽しい余興を提供してくれ、会場は大いに盛り上つた。プログラムは黙祷に始まり、最後は恒例の「琵琶湖周航の歌」「青い山脈」そして「螢の光」の全員合唱で盛り上がりはピークとなり、1次会は終了した。会場のご厚意で時間を延長していただき2時間半の懇親会となつた。

引き続き同会場で部屋を変え、2次会を開催した。参加者は1次会の約80%であったが、「カラオケ」ありで、入り乱れて動き回るため正確な参加数は把握できない。お



2019.11.07

字数は15字×30行程度と写真1枚でお願いします。

およその数の申告で支配人に了承していただきました。その後の3次会はそれぞれどのような行動であったのか把握できぬ状態であった。

当日は朝9時半に会場に入り、12時の開演まで準備と受付をし、2次会終了は16時過ぎであり、市内のが家着は19時であつた。帰宅後友人に電話したが、まだ帰つていないとのことであつた。とにかく楽しくも、慌ただしい1日であつた。

当会の支部的な「会」は、東京36会と関西36会があり活発な会を継続している。彦根における全体同窓会は今回をもつて「けじめ」をつけると宣言したが「継続を希望する!」との声もあり、新たに「有志」が集まつて彦根東高36会が創立、米寿記念を目指して再開することを希望して筆を置きます。

第11回卒 三八同窓会

福島 亨(東11)

卒業してから早や半世紀余り、昭和38年(1963年)卒業の「第11回卒 三八同窓会」を、令和に改元されて間もない5月16日、琵琶湖畔の大津プリンスホテルにて、開催しました。が、それに先立ち午前中希望者12名で石山寺に参拝しました。石山寺は源氏物語の紫式部が着想を得たとする伝承があり、近江八景の一つとして知られています。当日は五月晴れの青葉若葉で緑滴る絶好的の行楽日和で、神社仏閣の建築に携わっている宮

大工の西澤政男君に案内していただき、境内を一周、お互の近況を語りながら一時間あまり散策しました。

12時頃プリンスホテルロビーに、三々五々参加者集合。「君の名前はなんだけ」「そうそう〇組の〇〇さんですね」「ご機嫌いかがですか、〇〇君死んだらしいですね」「そう昨年の今頃亡くなりましたよ。私は何とか元気にやつてます」「お互い元気で再会できてよかつたですね」など近況の交換や、この場に元気で出席できた喜びの声があちこちで交わされました。本日の参加者は遠く鹿児島から来られた方もおられ総勢77名で一同記念撮影。その後同窓会を開宴。

北川淳也君の司会で、開会の辞に始まり物故者(55人)に黙祷、田口奉童君の発声のもと乾杯し、歓談へ入つていきました。昔話に花



第12回卒業同窓会 「平成最後の同窓の集い」

寺嶋大和(東12)

4月1日に新たな元号「令和」が発表され、平成も残すところ20余日、4月9日マリアージュ彦根において彦根東高校12回卒の105名(男子72名、女性33名)が集まり「同窓の集い」を行いました。参加者の念力が通じたのか当日は快晴、開花が遅れた桜も満開で全員の笑顔も最高でした。3年

石山寺参拝からホテルでの宴会、2次会へと7時間余り、旧交を温めた楽しい1日で、次回3年後の喜寿に元気で再会できることを期し散会しました。

石山寺参拝からホテルでの宴会、2次会へと7時間余り、旧交を温めた楽しい1日で、次回3年後の喜寿に元気で再会できることを期し散会しました。

4月1日に新たな元号「令和」が発表され、平成も残すところ20余日、4月9日マリアージュ彦根において彦根東高校12回卒の105名(男子72名、女性33名)が集まり「同窓の集い」を行いました。参加者の念力が通じたのか当日は快晴、開花が遅れた桜も満開で全員の笑顔も最高でした。3年

を咲かせた瞬く間に3時間でしたが、近況報告として、中川一男君が減りましたが益々健康老人集団のビワイチウオーキング、グラウンドゴルフ等に励んでいる「彦根での暮らし」や、石山寺で説明してくれた西澤政男君の「神社・仏閣の修理について」、又、鴻山昭子さんから「スポーツのすばらしき」、北澤洋一君から「アメリカ西海岸で暮らし」等報告されました。その後、山本万佐子さん、原田良子さん音頭のもと校歌を、福島修一君、橋本久司君、大久保文隆君の音頭で応援歌を全員で大合唱、青春の一頁に戻つたひと時でした。最後に次回幹事の下川至彦君が挨拶され閉会となり、2次会は同ホテルのスカイラウンジで5時ごろまで行いました。

石山寺参拝からホテルでの宴会、2次会へと7時間余り、旧交を温めた楽しい1日で、次回3年後の喜寿に元気で再会できることを期し散会しました。

4月1日に新たな元号「令和」が発表され、平成も残すところ20余日、4月9日マリアージュ彦根において彦根東高校12回卒の105名(男子72名、女性33名)が集まり「同窓の集い」を行いました。参加者の念力が通じたのか当日は快晴、開花が遅れた桜も満開で全員の笑顔も最高でした。3年



前回の古希の集いより、若干参加者が減りましたが益々健康老人集団はパワー全開で再会を喜び合いました。受付を済まし、スタジオに移動し集合写真撮影。8Kに耐えられる全員がチーズの合図でパチリ。会場のテーブルに着き、静かに流れれる「見上げてごらん夜の星を」ピアノの中、物故者54名に黙祷。同窓の集いは、大スクリーンに映し出されたされた東高吹奏樂部のDVDが流れ校歌の齊唱でスタート。司会は、龍ちゃんと悦ちゃんのゴーレンコンビが努め、世話人代表・寺嶋大和を紹介。平成30年(2018年)第90回選抜高校野球の甲子園球場アルプス席で熱狂した時の真っ赤な「鬼魂」ウインドブレーカーを着て挨拶を行つた。今回の新聞形式のパンフレットが、東高新聞縮刷版や創立120周年記念誌から、在学時の昭和36年から39年のピックアップ復刻版で、読み進むと55年前にタイムスリップ出来る内容で、人代表のとりとめのない挨拶の後、成者への謝辞が述べられた。世話人代表の通りとめのない挨拶の後、関東から参加の田井中克夫君による乾杯の発声で一段とムードが高まつていった。関西金亀会12回学年幹事の千菊文忠君から5月30日関西金亀会「歴史街道歩こう会」開催の案内もあり情報交換と昔話に、多いに飲み、食事も忘れたかのように賑やかな会場でした。宴たけなわ、過去に3回実施した「ぎんにゃん修学旅行」の次回企画案内とアンケート実施も澤君からな

終宴となつた。名残り尽き無い多くの友が会場を3階へ移動し、2次会宴へと進んだ。翌・10日に計画されていた彦根力アントリードのゴルフコンペは天候悪化の予報で中止となり、2次会を終えまだ語り足りない友はネオンを求めて歩き出し、絶好の夜桜を愛でる為、黄昏の彦根城へ出かけた。

人である堀田（大倉）雪心（浩司）君の開会挨拶と物故者への默祷、曾我円成君の乾杯の発声で始まりました。多くの歓談の輪が生まれて近況や思い出話に花が咲き、あつという間の2時間半でした。最後は同期のシンガーハンミキンによる校歌独唱と全員齊唱、井上敦雄君による閉会挨拶で将来の再会を約束して幕を閉じました。時を経て、あらためて同窓生の大切さを実感する機会となりました。この同窓会で明日への活力を得て、我々はまた社会で頑張っていきます。

友に捧げた校歌

川岸真喜(東37)

12月7日、彦根駅前のグランド



令和元年度 大学合格者数 () 内は平成31年3月卒の現役

国公立大学		滋賀県立大	12	(11)
北海道大	2 (0)	京都府立大	2	(2)
東北大	2 (0)	大阪市立大	5	(5)
筑波大	1 (0)	大阪府立大	3	(2)
千葉大	2 (1)	国公立大合計	184	(131)
東京大	1 (0)			
東京外大	1 (1)	私立大学		
東京工業大	1 (1)	慶應大	6	(3)
横浜国立大	1 (0)	東京理大	8	(0)
金沢大	8 (8)	明治大	6	(4)
福井大	4 (4)	早稲田大	3	(2)
信州大	7 (5)	京都産業大	22	(16)
岐阜大	5 (5)	京都女子大	25	(21)
静岡大	9 (8)	京都橘大	41	(28)
名古屋大	5 (3)	京都薬大	10	(9)
名古屋工大	5 (4)	同志社大	75	(48)
滋賀大	19 (14)	同志社女子大	16	(15)
滋賀医大	5 (3)	佛教大	35	(29)
京都大	11 (5)	立命館大	188	(106)
京都教育大	3 (3)	龍谷大	96	(77)
京都工芸繊維大	8 (5)	大阪薬大	8	(8)
大阪大	14 (7)	関西大	26	(12)
大阪教育大	2 (2)	近畿大	25	(15)
神戸大	9 (8)	関西学院大	15	(10)
広島大	6 (1)	私立大合計	778	(600)

め総勢152名の出席の下、発起人である堀田（大倉）雪心（浩司）君の開会挨拶と物故者への默祷、曾我円成君の乾杯の発声で始まりました。多くの歓談の輪が生まれて近況や思い出話に花が咲き、あつという間の2時間半でした。最後は同期のシンガーピー山みきさんによる校歌独唱と全員齊唱、井上敦雄君による閉会挨拶で将来の再会を約束して幕を閉じました。時を経て、あらためて同窓生の大切さを実感する機会となりました。この同窓会で明日への活力を得て、我々はまた社会で頑張つていきました。

しかし。みんな、そんな思いで歌いました。限りのあるいのち。亡くなつた同級生の分まで、毎日を大事に過ごさなければならぬし、僕たち同級生はいつかまた、あの教室で、昔のように机を並べて一緒に勉強するのだと思う、といふことをつづりました。同級生に、再会したい。同窓会を、続けていこうと思ひました。そして、同級生とうご縁に、深く感謝する機会になりました。2年後に近江八幡での開催と、再会を願つて、会を開催しました。まだまだ一緒に居たい、話したい。2次会には、25人が残つてくれました。

● 進路指導課

6年前から計画されていた大学入試改革も、昨年の後半になつて大学入学共通テストにおいて英語4技能外部検定も記述式についても来年度以降の入試では使わないことが突然発表されました。到底予想できる事態ではなかつたので大変驚き、また、情報収集に走り

回り、生徒や保護者にもできる限り不安を取り除くべく様々な場を作り説明してきた側からすれば、文科省の遅い対応に憤りさえ感じましたが、正直なところ胸をなで下ろしたというのが一番強い思いでした。英語4技能や記述式への対応は何とかなると思つておりましたが、共通テスト後の様々な混乱が少なくとも回避されたことに安堵したという感じです。

ただ、日本社会が、というより世界が大変貌を遂げようとしているなかでの教育改革の必要性は厳然とあるので、今回の入試制度の蹉跎は今後の日本の教育にとっては大きな痛手だと思います。

教科学力、とりわけ知識については、客観的に、つまり点数化して測ることができ、その序列によつて合否の判定ができます。こうした学力測定にはマーク式のテス

總合教養講座

今の生徒は、世間で一長時間学

働く・「プラック」などの言葉が並べてあることから、仕事に対する意欲が感じられる。しかし、そのうえ、今の若者に求められる力は知識よりは課題発見能力、探求力になつてきて、これまでの口説よりも、本人があまり得意としてこなかつたものばかりが並んでいますから、自信もなくしています。こうした状況に手応えのある企画をということで、20代後半から30代後半の若い卒業生を講師に招いて、2年生と車座になつて双方向で話ををするという講座を4年前から「総合教養講座」として行っています。今年も北川雄士氏（東46）（株式会社いろあわせ代表取締役）ロデュースしていただき、20名の卒業生が来てくれました。発展途上の彼らの失敗談や成功談、仕事の楽しさややり甲斐などを25分3

西澤	幸三	英語・定時制主事
前川	太市	数学
脇坂	徳夫	保健体育
渡邊	喜美	化学
矢田	佳三	
寺倉	幸夫	元東海金龜会会長
謹んで哀悼の意を表します		

回り、生徒や保護者にもできる限り不安を取り除くべく様々な場を作り説明してきた側からすれば、文科省の遅い対応に憤りさえ感じましたが、正直なところ胸をなで下ろしたというのが一番強い思いでした。英語4技能や記述式への対応は何とかなると思つておりましたが、共通テスト後の様々な混乱が少なくとも回避されたことに安堵したという感じです。

トで大量の受験生を判定できます
学力に関わる思考力は、国公立大学の2次試験は記述式なのである程度測ることができます。ただ、現在必要とされる「課題を見つける力」・「課題を解決しようとする意欲・行動力や想像力」は、従来の学力テストでは測定できず、こうした力をどのように育み、どのように評価・判定するかという大きな教育問題は先延ばしされました。

サイクルで聞き、仕事を前向きにとらえる生徒が増えたようです。

母校だより



▲総合教養講座



▲総合教養講座

書は「無之候」。学業は、嘉永元年1848年8月から同6年12月まで豊後國日田郡にあつた広瀬窓の咸宜園にて漢学修業、安政元年1854年4月から同4年10月まで肥後熊本の深水宗信の下にて漢学修業。職務歴は、安政5年1月858年2月、近江國大津にて漢学の私塾「亦樂堂」を開業。萬延元年1860年正月、森藩に戻り、4月、中士格として新規に召し抱えられ、慶応3年1867年11月、京に上り、「國事周旋方」、明治元年1868年2月には上士格、新政府の長崎府總督澤宣嘉の下で「御用聽」を務めています。同年4月から7月までは森藩「軍務參謀」、同2年2月から明治3年11月まで森藩「政治議員」を務めています。その後、明治5年1月から同8年12月まで日田郡有田村にて私塾「發業社」を開き、明治8年12月大分縣師範學校教授。同月岩手縣に警部として出向。明治9年2月大分縣第8大學区日田郡學区取締。監事、同年11月大分縣17等出仕勘署掛。明治13年5月「願二依リテ出仕免セラレ候」後は17年8月まで大分縣下大分町において私塾「綠漪園」を開業。明治17年大阪府の3等教諭となり吉野師範學校に勤務、明治19年5月同校廃校、解職と記されています。

同年7月、「滋賀縣二於テ教諭試補月俸30圓給與彦根公立中學校在勤申付ラレ候」、さらに「同20年彦根中學校縣立ニ改メラレ候ニ付教師任ヲ嘱託シ月俸30圓給與ノ辭

書は「無之候」。学業は、嘉永元年1848年8月から同6年12月まで豊後國日田郡にあつた広瀬窓の咸宜園にて漢学修業、安政元年1854年4月から同4年10月まで肥後熊本の深水宗信の下にて漢学修業。職務歴は、安政5年1月858年2月、近江國大津にて漢学の私塾「亦樂堂」を開業。萬延元年1860年正月、森藩に戻り、4月、中士格として新規に召し抱えられ、慶応3年1867年11月、京に上り、「國事周旋方」、明治元年1868年2月には上士格、新政府の長崎府總督澤宣嘉の下で「御用聽」を務めています。同年4月から7月までは森藩「軍務參謀」、同2年2月から明治3年11月まで森藩「政治議員」を務めています。その後、明治5年1月から同8年12月まで日田郡有田村にて私塾「發業社」を開き、明治8年12月大分縣師範學校教授。同月岩手縣に警部として出向。明治9年2月大分縣第8大學区日田郡學区取締。監事、同年11月大分縣17等出仕勘署掛。明治13年5月「願二依リテ出仕免セラレ候」後は17年8月まで大分縣下大分町において私塾「綠漪園」を開業。明治17年大阪府の3等教諭となり吉野師範學校に勤務、明治19年5月同校廃校、解職と記されています。

令受ケ候」と記され、賞罰は「無之候」。末尾に署名と押印、続いて別字で「明治23年8月9日彦根二於テ病没ス」と記されています。享年55歳6ヶ月の生涯でした。

◎金龜会役員名簿について

現在、金龜会では、卒業時に各学年より、同窓会活動の中心的存続となつていて、ただくクラス幹事、および学年全体のとりまとめをしていただく理事を登録していただいている。近年は成人式後の同窓会で、幹事さんを中心にして恩師を招き、盛大に同窓会を開いていたとき、その後も継続して同窓会を企画してくださっています。しかし、学年によつては、幹事・理事の方が、卒業時に登録したままの状態で有名無実化したり、実際にクラスや学年の同窓会活動の取りまとめをしていただいている方が代わつたりしている場合が多く見受けられます。

こうした状況をふまえ、金龜会では、理事・幹事の役員名簿を更新する作業を行つております。現在の名簿は、下記の方が事務局に登録されております。これを機会に連絡を取り合つていただき、活発な同窓会活動をお願いするとともに、各学年・クラスの同窓会の取りまとめをしていただく方が代わつている場合など、変更がございましたら、最新の情報を金龜会事務局まで、お知らせください。

件名：理事・幹事の登録変更
本文：郵便番号、住所、氏名
ふりがな、電話番号

顧問	副会長	会長	東2	彦2										
常任理事	事務局	理 事	会計監査	会 計	事務長	東3	東29	25	29	28	20	20	12	13
※	※	※	教頭(東32)	教頭(東32)	事務長	東38	11	東3	2	東3	29	25	29	28
東38	37	28	21	19	18	17	16	15	14	12	10	9	8	7
東4	16	11	14	13	17	13	12	11	10	9	8	7	6	5
同窓会係(東32)	同窓会係(東32)	同窓会係(東32)	伊香支部	伊香支部	伊香支部	東海金龜会								
29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29

木川西川西寺渡宮田市澤小佐塚北佐橋原寺川西中大坂北青川三安横安上中大植細猪中小村岸郷端田村邊元原川出竹本川竹本村寫野川久本村川山瀬橋居田田田村塚田江田村菅鉄順保登健善泰真博ち一僖直達源龍喜正儀文次貢幸新次孝雅秀志幹裕勝継良一直惠洋正章一健喜代江彦勇子美雄一洋昌夫弥康郎治男悦郎茂治生誠子芳史彦治彦実介郎樹昭一人嗣郎彦

彦根・湖東・	湖北支部長	東京金龜会	関西金龜会	事務局長											
理 事	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	支 部 長	
理事	伊香支部	伊香支部													
部長	藤田	藤田													
東50	東4	東16	東11	東14	東13	東17	東60	東20	東20						
東4	東16	東11	東14	東13	東17	東60	東20	東20							
東32	東32	東32	東32	東32	東32	東32	東32	東32	東32	東32	東32	東32	東32	東32	東32

P	東59	51	48	44	39	38	33	33	32	31	31	30	30	28	28	26	22	中50	東4	東16	東11	東14	東13	東17	東60	東20
T	A	会長(東33)	※印	母校勤務教職員	は学年同窓会の役員	幹事: 学年同窓会の代表	理事: 理事・幹事の登録変更	本文: 郵便番号、住所、氏名	ふりがな、電話番号	彦根・湖東・	湖北支部長	東京金龜会	関西金龜会	事務局長												
A	会長(東33)	※印	母校勤務教職員	は学年同窓会の役員	幹事: 学年同窓会の代表	理事: 理事・幹事の登録変更	本文: 郵便番号、住所、氏名	ふりがな、電話番号	彦根・湖東・	湖北支部長	東京金龜会	関西金龜会	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長
会長(東33)	※印	母校勤務教職員	は学年同窓会の役員	幹事: 学年同窓会の代表	理事: 理事・幹事の登録変更	本文: 郵便番号、住所、氏名	ふりがな、電話番号	彦根・湖東・	湖北支部長	東京金龜会	関西金龜会	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長
事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長

理事: 学年同窓会の代表
幹事: クラス同窓会の代表また
は学年同窓会の役員
試補月俸30圓給與彦根公立中學校在勤申付ラレ候、さらに「同20年彦根中學校立ニ改メラレ候ニ付教師任ヲ嘱託シ月俸30圓給與ノ辭

金龜會役員名簿

(令和2年1月現在)

役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名
幹事(中48)	中村 健蔵	理事(東19)	平田 晃	幹事(東33)	又川 裕司	幹事(東42)	志萱 忠幸	幹事(東50)	北村 太志	幹事(東59)	平井 至	幹事(東59)	前田 一磨	幹事(東59)	松原 実香	幹事(東60)	片岡 琢登
幹事(中49)	西堀 文吉	幹事(東19)	北村 和三	幹事(東33)	伊丹 稔	幹事(東42)	相場 千春	幹事(東50)	大西 優佳里	幹事(東59)	青木 崇絵	幹事(東59)	山田 梨華	幹事(東59)	杉中 瑞規	幹事(東59)	前優子
幹事(中50)	上杉 英造	" (東19)	土川 博	" (東33)	太田 洋介	" (東42)	渡邊 哲也	" (東50)	福永 昭弘	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東59)	前優子	" (東60)	若林 翼
幹事(中52)	加納 好博	" (東定20)	石田 保	" (東33)	藤田 克彦	" (東42)	富田 善弘	" (東51)	北村 聖恵	" (東60)	松原 実香	" (東59)	前優子	" (東60)	若林 翼	" (東60)	片岡 琢登
幹事(中53)	尾田 雄治郎	理事(東20)	伊吹 之男	" (東33)	浦谷 元彦	" (東42)	藤本 健二	" (東51)	眞野 ともき	" (東59)	中川 瑞規	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(中54)	横野 信隆	" (東20)	塚田 多佳子	幹事(東34)	村田 ひとみ	" (東42)	山下 和之	" (東51)	野口 真一	" (東60)	松原 実香	" (東59)	前優子	" (東60)	若林 翼	" (東60)	片岡 琢登
理事(中55)	瀬古 武夫	幹事(東20)	保田 和代	" (東34)	村上 有香	" (東42)	惣田 充	" (東51)	谷口 浩基	" (東60)	中川 瑞規	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(中55)	高木 徳本	" (東定21)	北川 稔	" (東34)	高瀬 憎悟	" (東42)	山下 健二	" (東51)	古賀 寿慶	" (東60)	松原 実香	" (東59)	前優子	" (東60)	若林 翼	" (東60)	片岡 琢登
理事(中56)	奥野 文雄	理事(東21)	加納 滋康	" (東34)	桂田 尚紀	幹事(東43)	西 正則	" (東51)	田中 千佳	" (東60)	中川 瑞規	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(中56)	島野 喜道	" (東21)	奥野 資夫	" (東34)	増田 利幸	" (東43)	竹内 和夫	" (東51)	橋本 雄理	" (東60)	吉岡 賢吾	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(中57)	田島 邦郎	幹事(東21)	金時 剛	" (東34)	辻 篤司	" (東43)	若林 邦久	" (東51)	山崎 有香里	" (東60)	北村 岳斗	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(中58)	宮川 昭三	" (東21)	中村 泰始	" (東34)	中根 裕信	" (東43)	宇賀 一真	" (東51)	黒田 新悟	" (東60)	大西 裕弥	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(中59)	郡田 宏	" (東定22)	藤本 照子	" (東34)	川崎 達也	" (東43)	赤田 由美子	" (東51)	田村 伸	" (東60)	北村 岳斗	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(中60)	岩崎 正俊	理事(東22)	角 明卓	" (東34)	野中 孝則	" (東43)	大船 真言	" (東51)	藤居 勉	" (東60)	小財 康平	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (中60)	谷川 利作	" (東22)	西澤 幹男	" (東定35)	河村 孝子	" (東43)	豊満 晶子	" (東51)	増田 正幸	" (東定52)	宮川 雅基	" (東61)	鷗治 亮介	" (東59)	山田 梨華	" (東60)	前優子
理事(彦1)	林 信子	幹事(東22)	伊藤 義典	幹事(東35)	竹田 大輔	" (東43)	田中 弘之	" (東52)	岩田 岩	" (東61)	堤 晶音	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(彦1)	北川 久雄	" (東22)	尾田 英昭	" (東35)	山口 利幸	" (東43)	徳田 辰行	" (東52)	森鷗 條	" (東61)	諒	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (彦1)	堀 錠子	" (東定23)	柴田 重市	" (東35)	尾村 竜也	" (東定44)	北村 純一	" (東52)	知花 敬彥	" (東61)	康平	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(彦2)	今尾美智子	理事(東23)	藤野 澤	" (東35)	田井中 雅人	幹事(東44)	中嶋 英里	" (東52)	松山 善一	" (東61)	周平	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (彦2)	坪田啓次郎	" (東23)	寺村 康史	" (東35)	岡 亨幸	" (東44)	谷 直行	" (東52)	藤居 周平	" (東61)	中西 智弘	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (彦2)	渋谷 博	幹事(東23)	塚本 康之	" (東35)	山田 昌弘	" (東44)	岡野 孝次	" (東52)	角田 雄祐	" (東61)	西	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(彦3)	新谷 清隆	" (東23)	村岸 常光	" (東35)	柏原 善則	" (東44)	田中 健太	" (東52)	昌平	" (東61)	圭吾	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (彦3)	足立 妙子	" (東定24)	杉山 亨	" (東35)	佐竹 美昭	" (東44)	武田 玄	" (東52)	谷川 圭吾	" (東61)	大樹	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(彦3)	吉信 清子	理事(東24)	田附 弘	" (東35)	竹中 隆一	" (東44)	木村 哲就	" (東52)	久米 秀典	" (東61)	雅樹	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (彦3)	山本 謙	" (東24)	平居 敏彦	" (東36)	竹村 博雄	" (東44)	北川 幸祐	" (東53)	平井 仁	" (東61)	聖人	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東1)	大久保良康	幹事(東24)	岩崎 義典	" (東36)	堀井 保志	" (東44)	宮野 寛	" (東53)	竹野 裕二	" (東62)	聖人	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東1)	森 寿美子	" (東24)	速水 利員	" (東36)	堀田 雪心	" (東44)	宮野 寛	" (東53)	宮川 育	" (東62)	聖人	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東2)	郡田きよ子	" (東定25)	谷口 治男	" (東36)	堀田 雪心	" (東45)	鷗貫 昌宏	" (東54)	田中 健	" (東62)	聖人	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東2)	吉田耕一郎	理事(東25)	田中 幸一	" (東36)	多田 純	幹事(東45)	北條 智昭	" (東53)	三上 真司	" (東62)	聖人	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東2)	山田恵美子	" (東25)	辻 桂	" (東36)	岡井 康司	" (東45)	宇野 篤	" (東53)	曾山 喜希	" (東62)	聖人	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東3)	伊藤 久子	" (東25)	伊勢村千賀子	" (東36)	前田 康秀	" (東45)	寺井 昭仁	" (東53)	吉村 昌之	" (東62)	天薰	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東3)	花房 房子	幹事(東26)	熊谷 和志	" (東36)	山田 泰久	" (東45)	深尾 卓史	" (東53)	滝 祥太	" (東62)	天薰	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東3)	中田 愛子	理事(東26)	奥村 俊子	" (東36)	奥村 俊慈	" (東45)	西村 光司	" (東53)	武田 育大	" (東62)	天薰	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東4)	和田 早子	幹事(東26)	馬場 完之	" (東36)	細江 畏久	" (東45)	須賀 史弥	" (東53)	大方 正倫	" (東62)	天薰	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東4)	岡野 正義	" (東26)	中江 淳	" (東36)	西川 裕悟	" (東45)	久保 明子	" (東53)	小川 与比古	" (東63)	大樹	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東4)	清洲 伸	" (東定27)	藤川 雅章	" (東37)	山本 宏	" (東45)	横尾 智	" (東54)	田中 仁	" (東63)	京介	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東5)	澤 和人	幹事(東27)	伊藤 新一	" (東37)	岡 伸一	" (東45)	立木 佑季	" (東54)	安食 知典	" (東63)	愛美	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東5)	正村 愛子	" (東定28)	大橋 一男	" (東37)	矢田 直章	" (東45)	古野 真弘	" (東54)	栗田 友香	" (東63)	桃瀬 真歩	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東5)	柴田 義昭	幹事(東28)	島野 光史	" (東37)	深草 敏	" (東46)	森田 真理子	" (東54)	小島 翼	" (東64)	楳介	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東6)	小澤 弘	" (東28)	中辻 義治	" (東37)	山下 元之	幹事(東46)	北川 雄士	" (東55)	北村 健志	" (東64)	谷澤 高廣	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東6)	西河 丈雄	" (東定29)	三谷 和生	" (東37)	大塚 雄一	" (東46)	橋口 仁志	" (東55)	岡田 健志	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東6)	森 恒雄	理事(東29)	朝比奈 真美	" (東37)	道明 大輔	" (東46)	戸田 真吾	" (東55)	宮川 善基	" (東64)	武田 真美	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東7)	川村 弘	幹事(東29)	佐藤 直樹	" (東37)	奥 貴之	" (東46)	橘 智志	" (東55)	大曾根 克	" (東64)	真理	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東7)	白石 制	" (東29)	渡辺 正弘	" (東37)	辻 宗史	" (東46)	森 智志	" (東55)	中山 阳介	" (東64)	和磨	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東7)	山川 和男	" (東29)	市川 忠穎	" (東38)	橋本 懈也	" (東46)	早川 園香	" (東55)	鷗佐 仁	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東8)	伊藤 京子	" (東29)	奥田 誠一	" (東38)	藤田 武史	" (東46)	三谷 大	" (東55)	西田 和貴	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東8)	澤 義人	" (東29)	村山 圭子	" (東38)	松田 弘充	" (東46)	小山 弘樹	" (東55)	坂口 聰	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東8)	中溝 俊子	" (東29)	大谷 伊知郎	" (東38)	大谷 健博	" (東46)	前谷 伸	" (東55)	若松 幸	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東8)	古沢 隆三	" (東29)	小林 健博	" (東38)	音羽 克之	" (東46)	理幹	" (東55)	國領 成人	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東9)	北村 登	事(東9)	川嶋 清史	" (東38)	岡司 徹也	" (東46)	吉田 一彦	" (東55)	北川 健志	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東9)	成宮 輝彦	" (東29)	三輪 建夫	" (東38)	曾我 芳裕	" (東46)	示野 日紘子	" (東55)	杉本 信吾	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東10)	宇津木信也	" (東29)	川北陽一郎	" (東38)	宮川 真一	" (東46)	高田 文大	" (東55)	北川 健志	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東10)	吉田 純一	" (東29)	本持 真二	" (東38)	溝口 博昭	" (東46)	川口 邦明	" (東55)	田原 卓人	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東11)	中島 信幸	" (東29)	前出 博幸	" (東38)	北川 剛	" (東46)	国寄 智将	" (東55)	西村 元志	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東11)	田原 純子	" (東29)	近藤 正也	" (東39)	谷口 聰	" (東46)	天谷 真彦	" (東55)	西村 元志	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東11)	夏原 平和	" (東29)	小島 宏司	" (東39)	山口 順子	" (東46)	順子 伸	" (東55)	高橋 広昌	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
理事(東12)	尾崎 純一	幹事(東30)	寺村 のぶ	" (東39)	林 恭行	" (東46)	樋口 義児	" (東55)	堀井 邦志	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東12)	未松 史彦	" (東30)	内堀 智人	" (東39)	藤男 哲也	" (東46)	田中 崇彦	" (東55)	志弘	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
幹事(東12)	村岸 阿津雄	" (東30)	磯崎 久和	" (東39)	山田 崇彦	" (東46)	音羽 克之	" (東55)	國領 成人	" (東64)	和輝	" (東59)	山田 梨華	" (東59)	杉中 瑞規	" (東60)	前優子
" (東13)	大平 恒文	" (東30)	浦田 昌彦	" (東39)	北川 豊	" (東46)	岡田 泰也</										

「彦根城を世界遺産に」彦根城世界遺産登録

意見交換・応援1000人委員会会長 宮 川 富 子（東13）



彦根城は皆様ご存知の通り、国宝の城として犬山城・松本城・姫路城・最近国宝指定となつた松江城の5つの内の1つであります。明治の廃城令で取り壊される運命にあつたが、明治天皇の進言により保存され、今に至つています。築城当時のまま姿を残し、彦根のシンボルとして又観光の中心として年間約86万人の観光客が訪れております。しかし残念ながら平成4年に世界遺産暫定リストに上がつてから未だ登録されず、それに向けての活動もありませんでした。その間に姫路城が「城」として登録となり、「唯一無二の歴史的価値」として彦根は「城」「天守閣」だけでは登録が不可能になりました。

彦根城築城以来、統治や学問等安定した生活の環境づくりを400年以前にすでに確立していたのが彦根城下町です。「城下町彦根」が世界遺産に登録されれば日本のみならず世界中の人が日本を中心部ともいえる近畿の「滋賀県」



そして「彦根市」がここに存在することを認知されることになります。奈良や京都よりも寺社も多く歴史物の宝庫とも言える我が故郷滋賀彦根が「滋賀といえば琵琶湖」としか知らない人から認識されることになります。市民の応援部隊が出来たことで、文化庁の方からも希望のもてる返答が来るようになってきました。少し登録に向けての光が見えてきた現状です。まだこれから道のりは長いですが、2024年登録に向けて市民として私たちに何ができるかを模索しながらしっかりと応援活動をしていきたいと思っています。

母校彦根東の赤鬼魂も、井伊家35万石の彦根城内に立地するからこそその賜物であることを窓の皆様に深くご理解いただき、「心の故郷」彦根が「誇り」となる日を目指し、世界遺産に向けて絶大なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

金 龜 会 総 会

彦根・湖東・湖北支部総会

令和2年度

●日時 令和2年5月24日（日）
(受付12時45分)

13時15分 彦根・湖東・湖北支部総会
14時 総会
15時 記念講演会

●場所 彦根東高校 木造校舎多目的ホール

●講演 演題 国際企業法競争

—国際ビジネスで勝ち抜くために—

講師 弁護士・弁理士

西川 知雄 氏（東15）



17時より

*懇親会

（彦根ビューホテル
0749-26-1111
8000円（当日徴収））

●ご出席の方は同封の出席票を切り取ってご返送ください●